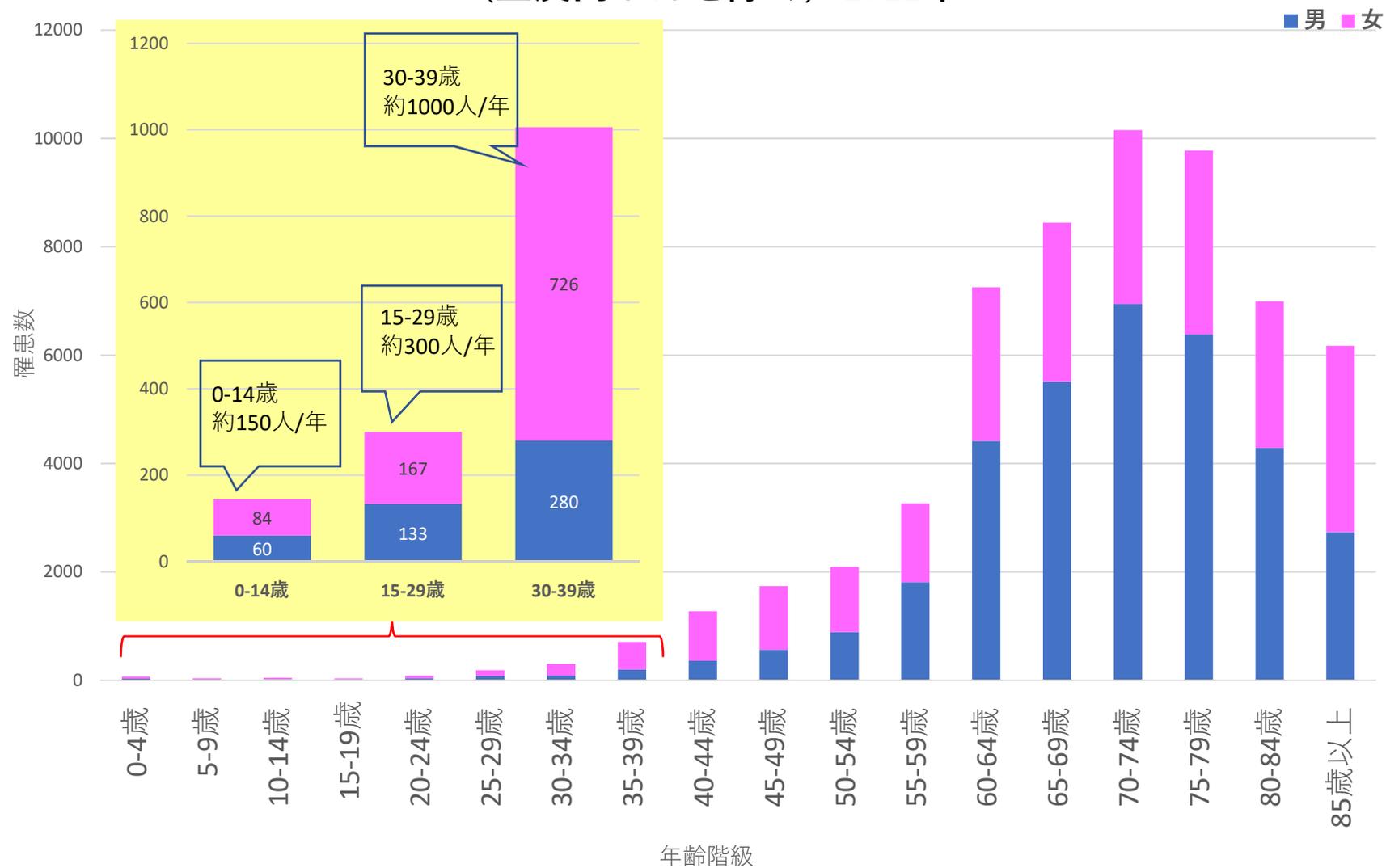
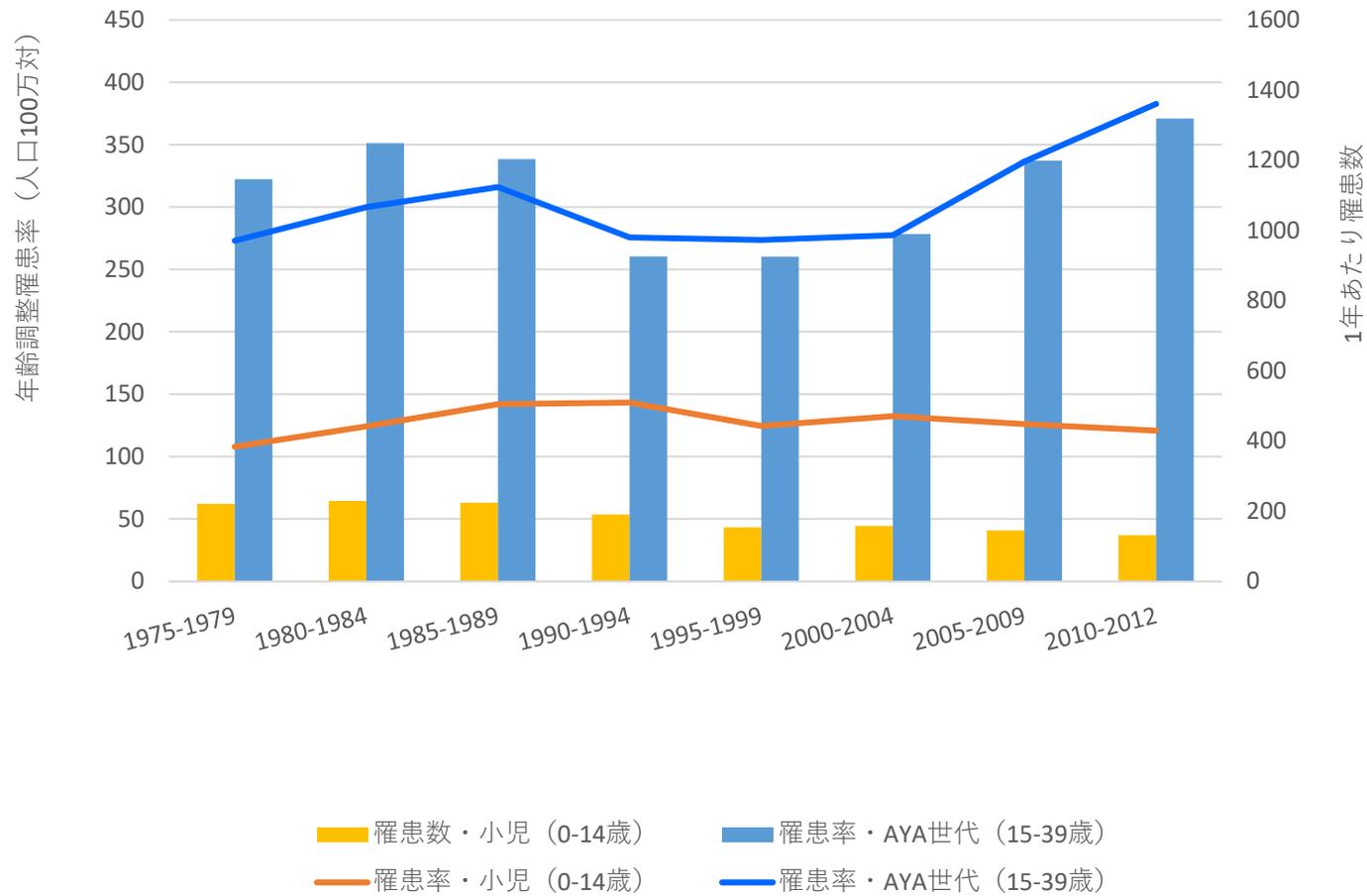


大阪府における1年あたり年齢階級別がん罹患数 (上皮内がんを除く) 2012年



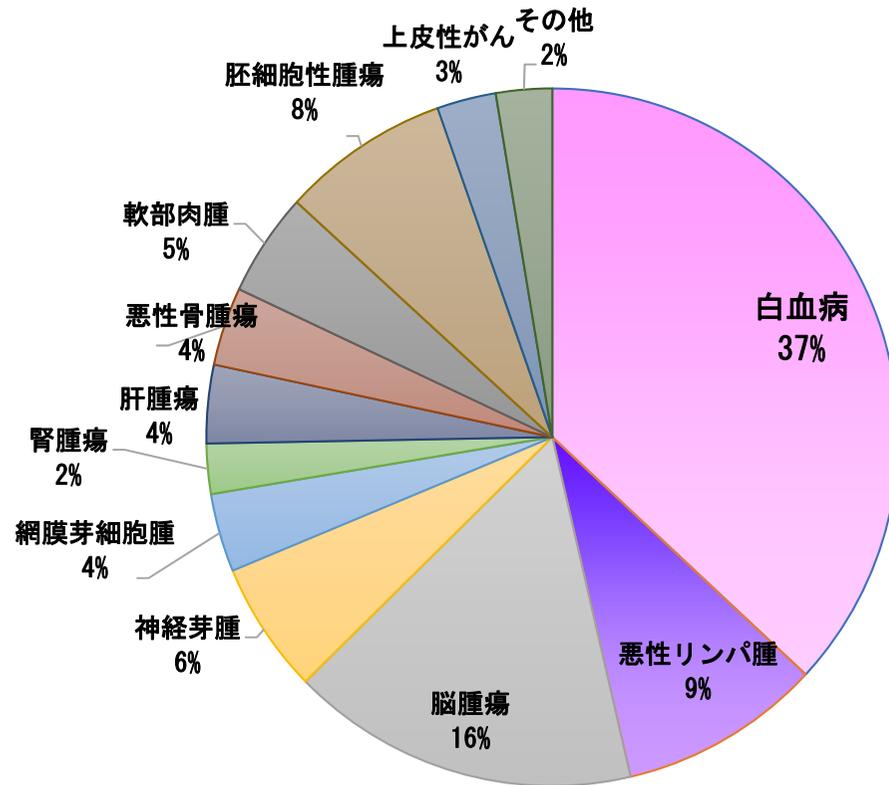
(大阪府におけるがん登録-第80報より)

大阪府における小児・AYA世代のがんの 年齢調整罹患率・1年あたり罹患数の推移 (1975-2012年)



(大阪府がん登録)

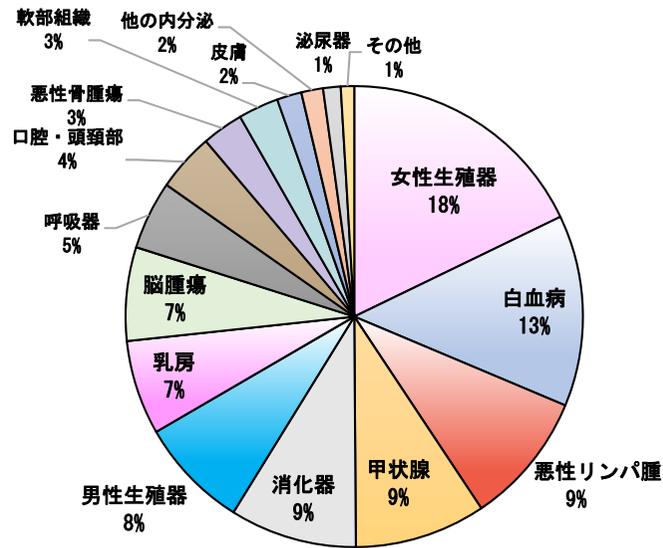
大阪府における小児（0-14歳）のがんの種類別罹患割合 （2008-2012年、国際小児がん分類）



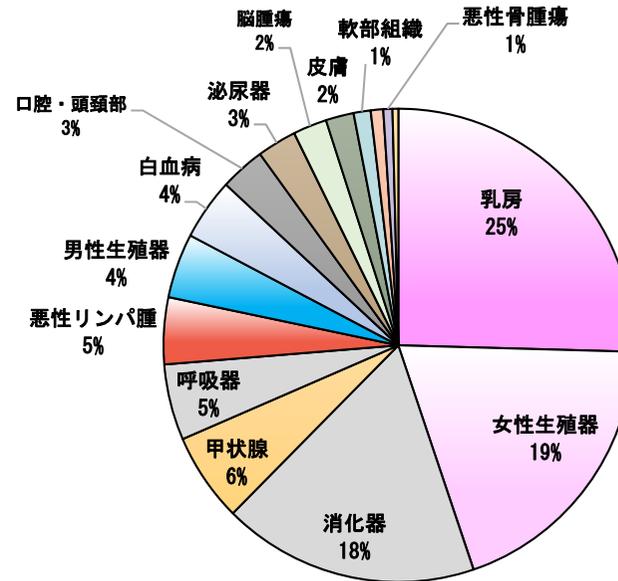
（大阪府がん登録）

大阪府におけるAYA世代のがんの部位別罹患割合 (2008-2012年)

AYA世代 (15-29歳)

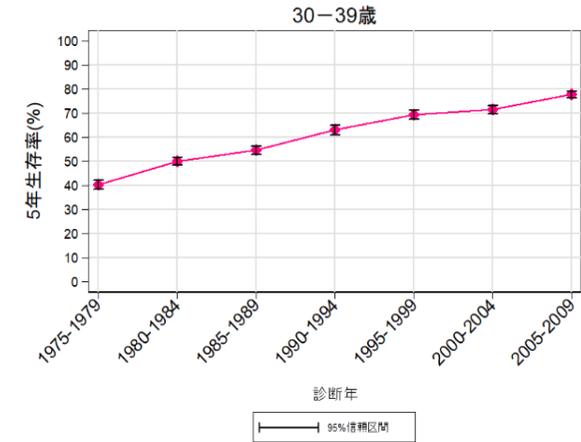
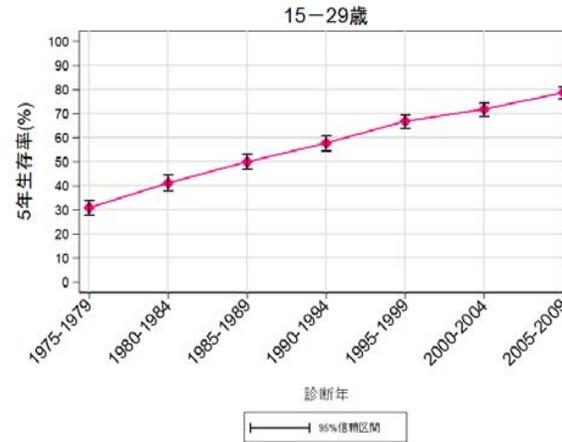
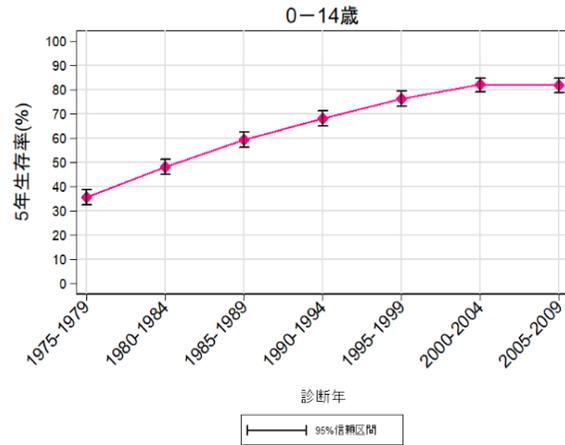


AYA世代 (30-39歳)



(大阪府がん登録)

大阪府における小児・AYA世代のがんの5年生存率の推移 (1975年-2009年)



(大阪府がん登録)

グラフは、大阪府における小児・AYA世代の全がん患者の5年生存率（Kaplan-Meier法）の推移です。小児・AYA世代のがんの生存率は、2000年代にかけて大きく改善し、近年では、全体として約8割の方が5年以上生存されています。

大阪府における小児・AYA世代の各がんの5年生存率 (2005年-2009年)

小児

	0-14歳
白血病	84.3%
悪性リンパ腫	91.0%
脳腫瘍	65.5%
神経芽腫	76.5%
網膜芽細胞腫	100.0%
腎腫瘍	92.3%
肝腫瘍	80.0%
悪性骨腫瘍	76.9%
軟部肉腫	71.1%
胚細胞性腫瘍	97.8%
上皮性がん	83.3%
全がん	81.9%

AYA世代

	15-29歳	30-39歳
悪性リンパ腫	83.0%	78.7%
白血病	70.7%	68.1%
大腸・直腸がん	58.1%	70.5%
肝がん	40.0%	34.8%
乳がん	79.4%	89.8%
子宮頸がん	86.6%	85.2%
精巣がん	92.8%	98.8%
脳腫瘍	56.1%	60.9%
甲状腺がん	100.0%	98.3%
肺がん	29.2%	33.3%
悪性骨腫瘍	72.5%	91.7%
軟部肉腫	84.4%	70.1%
全がん	78.6%	77.7%

(大阪府がん登録)

各がん種別にみると、がんの種類、発症年齢によって生存率は大きく異なることが分かります。例えば、小児において、網膜芽細胞腫、胚細胞性腫瘍、腎腫瘍の5年生存率は90%を超えていますが、脳腫瘍の生存率は65%と低くなっています。AYA世代において、甲状腺がんや精巣がんの5年生存率は、90%を超えていますが、肝がん（15-29歳：40%、30-39歳：34.8%）、脳腫瘍（15-29歳：56.1%、30-39歳：60.9%）、肺がん（15-29歳：29.2%、30-39歳：33.3%）などでは、低くなっています。また、白血病や悪性リンパ腫のように、同じがん種でも、小児よりAYA世代の方が生存率が低いものがあります。

大阪府における小児・AYA世代のがん患者の在宅死亡割合の推移

